

K-1 : 10月13日(土) (12:45 ~ 14:45)

<p>タイトル</p>	<p>「面白法人というチームをつくるマネージメント」 ~面白法人のクリエイティブを支える“カヤックスタイル”と組織戦略~</p>
<p>講演者</p>	<p>柳澤 大輔(やなさわ だいすけ)氏</p>
<p>講師紹介</p> 	<p>株式会社カヤック代表取締役 CEO http://www.kayac.com/ 1974年香港生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒業後、ソニー・ミュージックエンタテインメントに入社。1998年、学生時代の友人と共に面白法人カヤックを設立。鎌倉に本社を構え、鎌倉からオリジナリティのあるコンテンツを Web サイト、スマートフォンアプリ、ソーシャルゲーム市場に発信する。主要事業のほかにもカヤックが運営する飲食店「DONBURI CAFE DINING bowls」の運営や2009年、ピンボーゆすりを科学したプロダクト「YUREX」の開発のプロデュースにたずさわる。100以上のクリエイティブディレクターをつとめる傍ら、2012年カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル、2010年東京インタラクティブ・アド・アワード、2010~2012年Yahoo!インターネットクリエイティブアワードなどWeb 広告賞で審査員をつとめ、著書に「面白法人カヤック会社案内」(プレジデント社)、「アイデアは考えるな」(日経BP社)、などがある。</p>
<p>概要</p>	<p>社員の9割をクリエイターが占めるWebクリエイター集団・面白法人カヤック。鎌倉に本社を置き、事業内容は「日本的面白コンテンツ事業」と謳い、Web サービス、スマートフォンアプリやソーシャルゲームなど、ユニークで話題となる新しいコンテンツを次々と企画しつくり出しています。絵の測り売りショップ「ART-Meter」や音声コミュニティ「koebu」など事業のオリジナリティだけでなく、カヤックを一躍有名にした給与制度「サイコロ給」や「スマイル給」、オフィスマネージメント施策「旅する支社」など、常識にとられないクリエイティブな人事施策や組織づくり。クリエイターのモチベーションを高め、チームあるいは組織としての相乗効果を最大限に活かすための仕掛けをつくっています。</p> <p>プロジェクトマネジャーにとって、多様なバックグラウンドや専門性をもつ人々のやる気高め、各人が持ち味を発揮して活躍できる場所をつくることは永遠の課題です。しかしその前に、プロジェクトマネジャー自身がプロジェクトを面白いと感じ、プロジェクトを楽しむことが、今こそ必要なのではないでしょうか。</p> <p>カヤックには組織づくりの原点として、KAYACスタイルという7つの行動指針があるといます。本講演では、カヤックの創業者でありCEOである柳澤様に、カヤックがクリエイティブな組織であり続けるために考え、実践されてきたご経験をお話いただき、PM 諸氏に「メンバーが主体的に参加するチームづくり」という観点から、現状の停滞感を打破し、プロジェクトの活性化に向けた着想を得ていただくことをねらいとしています。</p>